



2020年10月28日

各 位

会 社 名	株式会社 PKSHA Technology (コード番号 3993：東証マザーズ)
代表者名	代表取締役 上野山 勝也
問合せ先	取締役経営管理本部長 中田 光哉 (03-6801-6718)

製薬企業に特化してアルゴリズムソリューションを展開する 合弁会社の設立をメドピア株式会社と合意

株式会社PKSHA Technology（代表取締役：上野山 勝也、以下「当社」）は、メドピア株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 CEO：石見 陽、東証一部：6095、以下「メドピア」）と製薬業界に特化してアルゴリズムソリューションを展開する合弁会社「メドクロス株式会社」の設立に関する契約を2020年10月28日に締結いたしましたので、お知らせします。

記

1. 合弁会社設立の背景および目的

メドピアは、医師12万人が参加する医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を通じて、累計60万件以上の薬剤評価を中心に、全国の医師の様々なナレッジを蓄積しています。

この度設立予定の合弁会社では、当社が有するアルゴリズム技術とメドピアグループが保有する医師や生活者のデータベースという両社の経営資源を持ち寄り、製薬会社や医療機器メーカーへのより効率的かつ効果的な課題解決やマーケティングを実現すべく、アルゴリズムソフトウェアの開発や「医師コミュニケーションデータ」と「患者コミュニケーションデータ」双方のデータ解析を基盤としたソリューションなどを提供してまいります。

様々な業界でデジタル進化やパーソナライズ化が進む中、製薬業界／医師にも同様に、一人ひとりに快適なコミュニケーションチャンネルの選択やパーソナライズされたコンテンツの提供が求められております。また、昨今、新型コロナウイルスの影響で、MRが医師を直接訪問するという従来の営業活動も変容しております。MRのコミュニケーションツールやマーケティング戦略策定のニーズが拡大し、製薬業界などにおいてもデジタルシフトが加速していくことが想定されます。

このような市場環境を鑑み、当社とメドピアは、両社の協力体制のもと、医療関連企業におけるデジタル進化の牽引と市場の活性化を図ってまいります。

2, 合併会社の概要

名称	メドクロス株式会社
所在地	東京都中央区銀座6-18-2 野村不動産銀座ビル11階
代表者の役職・氏名	代表取締役 七久保 卓郎
資本金	10百万円（資本準備金を含む）
出資比率	メドピア株式会社 : 51% 株式会社PKSHA Technology : 49%
設立年月日	2020年11月（予定）

3, 合併会社の主な事業内容

①医師コミュニケーションデータを活用したアルゴリズムソリューションの提供

当社のアルゴリズム技術とメドピアのドクタープラットフォームから得られるデータを活用し、医師の薬剤選定における思考法や優先度の分析、製薬企業における売上予測などを進め企業のマーケティング活動の実践を支援。

②患者コミュニケーションデータを活用したアルゴリズムソリューションの提供

当社のアルゴリズム技術とメドピアのライフログやヘルスケアデータベースを活用し、各患者のペイシエント・ジャーニー（Patient Journey）（※）の作成などを通し、効果的なマーケティングやソリューションを提案。

なお、上記事業は、2020年11月頃からの開始を予定しております。詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

（※）患者さんが疾患や症状を認識し、最終的に病院での受診や服薬など、治療するまでの患者さんの「行動」、「思考」、「感情」などの一連の行動を可視化したもの。

4, 今後の見通し

本件が当社の2021年9月期業績に与える影響は現時点で軽微と想定していますが、中長期的に当社の事業展開の拡大に寄与するものと考えています。

なお、当社の2021年9月期の業績見通しは、2020年11月12日発表の決算短信にて開示予定です。

■ メドピア株式会社について

「Supporting Doctors, Helping Patients.」をミッションに、医師12万人（国内医師の3人に1人）が参加する医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を中心とした事業を展開しています。2016年には株式会社Mediplat、株式会社フィッツプラスを子会社化し、法人向け産業保健支援サービス「first call」、管理栄養士による特定保健指導サービスなど、専門家ネットワークを活かした各種事業を開始しました。直近では、かかりつけ薬局化支援サービス「kakari」、医師人材紹介サービス「MedPeer Career Agent」の開始など、事業領域を拡大しています。

■ 株式会社PKSHA Technologyについて

「アルゴリズムサプライヤー」として、自社開発した機械学習／深層学習領域のアルゴリズムを用い、既存のソフトウェアや各種ハードウェア端末向けにソリューションを展開しています。伸長している領域としては、自然言語処理技術を用いた自動応答や、画像/動画認識、予測モデルなど多岐に渡ります。アルゴリズムを軸に近未来のデジタル情報社会へ向けて価値を創造すべく、今後も多種多様な企業・サービスとも連携を強め、積極的に事業展開してまいります。

以 上